

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31300 介護老人ホーム委託事業費	会計	1 一般会計	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約
		款	3 民生費	基本分野	4 福祉・保健	実施計画事業	介護老人ホーム委託事業	
担当課	福祉部 高年介護課	項	1 社会福祉費	分野	3 高齢者福祉	H28実施計画額	148,000 千円	
	内線 2953	目	3 老人福祉費	施策概要	1 住み慣れた地域での生活の支援			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 65歳以上で居宅における生活が困難な方 対象者数 60 人	どうしたいのか(意図)	身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において介護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(介護老人ホーム)等に措置し、安定した日常生活を送れるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・入所措置が必要とみなされる方を老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を依頼する。 ・入所措置判定者を介護老人ホーム等に入所委託する。
----	---	-------------	--	----	-------------	---

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	居宅において介護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方に対して、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を依頼。入所措置の判定者を介護老人ホームに入所委託した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	措置入所者数(延べ・ショート含む)	人	目標値	684	684	684	684
				実績(見込)	678	674	650	
	算出根拠等			達成率(%)	99	99	95	
	活動指標	措置入所判定件数	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	6	3	5	
	算出根拠等			達成率(%)	60	30	50	
	活動指標	新規措置入所者数	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	7	3	3	
	算出根拠等			達成率(%)	70	30	30	
	補足				目標値			
		算出根拠等			実績(見込)			
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、介護施設への入所のニーズは、減少傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・居宅において介護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施している。 ・入所者が高齢化し、要介護(支援)者が増加しているため、高山八寿会と連携しながら施設で対応できない入所者については特別介護老人ホームへの入所に切り替えを行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・老人福祉法に基づき、身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において介護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(介護老人ホーム)等で安定した日常生活を送れるよう措置を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	145,919	144,652	147,781	149,022
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	215,220	214,617	227,355	217,868
	受益者	措置入所者	(B)	678	674	650	684

5 予算編成(Action2)

事業内容	・老人福祉法に基づく介護老人ホーム等への入所措置	要求のポイント	・介護老人ホームへの入所委託に要する経費を計上	事業実施の課題
------	--------------------------	---------	-------------------------	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		147,781	149,022	1,241	148,451	148,451	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	33,693	23,350	△ 10,343	28,500	28,500		
	一般財源	114,088	125,672	11,584	119,951	119,951		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31305	高齢者在宅生活支援事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画		市長公約	社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めます。
	款			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	高齢者在宅生活支援事業		
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H28実施計画額	4,400 千円			
				2953	目	3		老人福祉費	施策概要		1	住み慣れた地域での生活の支援		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の市民	どうしたいのか (意図)	支援が必要な高齢者に対し、日常生活に関する支援を行うことで、在宅での生活を継続することができる。	概要	事業の実施手法(手段)	・介護保険の短期入所サービスの支給限度額を超えた利用に対する利用者負担の一部償還払いや、簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員を派遣による援助など、支援が必要な高齢者に対する介護保険サービス以外の日常生活の援助を行う。
	対象者数	27,382 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	①短期入所付加サービス:ケアマネを通じた申請や該当者からの直接の申請を受けて助成 ②軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員を派遣による援助 ③日常生活用具:要介護高齢者及び高齢者世帯等に、日常生活用具を貸付又は貸与 ④外国人福祉給付金:無年金の外国人高齢者等に福祉金を給付 ⑤寝具洗濯乾燥:寝具の衛生管理が困難な高齢者等に寝具の洗濯乾燥消毒サービスを提供 ⑥社福減免:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 ⑦低所得者負担軽減:障がい者施策によるホームヘルプサービスを利用して低所得者の障がい者が、介護保険制度利用者負担の一部を助成						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
成果指標	短期入所付加サービス実利用人数	人	目標値	36	36	40	34
			実績(見込)	23	17	6	
成果指標	軽度生活援助事業実利用人数	人	目標値	60	65	65	46
			実績(見込)	66	86	90	
成果指標	電磁調理器、火災警報器、自動消火器の給付件数	件	目標値	42	9	9	9
			実績(見込)	2	2	6	
成果指標	老人電話、シルバーカーの新規貸与件数	件	目標値	7	7	7	7
			実績(見込)	11	4	11	
成果指標	外国人高齢者等福祉金給付実人数	人	目標値	2	2	2	2
			実績(見込)	2	2	2	
成果指標	社会福祉法人による介護保険サービス利用者負担額軽減認定者数	人	目標値	31	25	25	25
			実績(見込)	19	17	25	
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居の高齢者の増加に伴い、対象者が増えることが見込まれる。 ・虚弱な高齢者をすべて把握することは困難であるが、それらの方の把握に努め、在宅継続するためには、どのような支援が必要となるのか検討する必要がある。 ・高齢者世帯や独居高齢者が増加し、安全に生活できるよう、ニーズに応じて事業を継続する必要がある。 ・利用者が少ない事業については要因を分析しながら、実施していく必要がある。利用者は少ないものの、他に代わる事業はなく、市が継続して実施する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーや民生児童委員へ事業を周知し、ニーズの把握に努める。 ・事業の活用が要介護認定をけないことや見守りつながっていることから事業の必要性はあるものの、ニーズが少なく利用者が固定化している事業もことから、事業のPRを行い利用の拡大に努める。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、介護予防・日常生活サービス事業への移行を含めた調整を行う。(軽度生活援助) ・高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加し、安全に生活できるよう、ニーズに応じた内容で事業を継続する必要がある。 ・ニーズが少なく利用者が固定化している事業については、事業のPRを行い利用の拡大に努める。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが少なく利用者が固定化している事業については、廃止を含め検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,408	3,621	4,405	4,200
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	27,707	28,289	31,464	31,343
	受益者 実利用人数	(B)	123	128	140	134	

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の給付限度額を超えて短期入所サービスの利用が必要な方への助成 ・支援を要する高齢者のための軽度の生活支援委託 ・給付対象品の購入費に対する助成 ・貸与対象品の購入・貸与 ・無年金の外国人高齢者等に対する福祉金の給付 ・高齢者世帯の寝具洗濯乾燥サービスの委託 ・社会福祉法人による利用者負担額等の軽減分の一部助成 	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,405	4,200	△205	3,305	3,305	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	600	750	150	600	600		
	その他	200	197	△3	150	150		
	一般財源	3,605	3,253	△352	2,555	2,555		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31310	外出行支事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画		市長公約
	款			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	外出支援事業	
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H28実施計画額		23,400 千円	
	2953			目	3	老人福祉費		施策概要	1		住み慣れた地域での生活の支援		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共交通機関利用困難な支所地域の要支援・要介護認定者等	どうしたいのか(意図)	・高齢者が在宅で安心して自立した生活を維持できるよう、受診や在宅福祉サービス利用に必要な外出を支援する。 ・高齢者等の日常生活をサポートするため外出を支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	・福祉有償運送により、支所地域在住の単独では一般の公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し、医療機関や在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を行う。 ・「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券の購入に対し、その費用の一部を補助する。
	対象者数	571 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	外出支援:利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施した。 地域乗合バス助成:「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,110円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	外出支援事業登録者数	人	目標値	560	560	560	600
				実績(見込)	561	571	503	
	算出根拠等		各年度末(3/31)	達成率(%)	100	102	90	
	成果指標	外出支援事業延べ利用者数	人	目標値	13,500	13,500	13,500	13,500
				実績(見込)	12,162	10,958	11,500	
	算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	90	81	85	
	成果指標	外出支援事業延べ回数	回	目標値	9,500	9,500	9,500	9,500
				実績(見込)	8,637	7,908	9,000	
	算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	91	83	95	
	成果指標	地域乗合バス利用助成事業利用実績	人	目標値	1,350	1,200	1,200	1,200
				実績(見込)	1,083	998	950	
	算出根拠等		各年度利用実績	達成率(%)	80	83	79	
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・支所地域と高山地域の利用者負担の均衡について検討する必要があるが、支所地域と高山地域では、医療機関等が遠方であるなど公共交通等の実情を考慮する必要がある。 ・遠距離利用の高齢者などの利用ニーズは高いが、利用者が固定される傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		・当事業の利用目的範囲及び利用者負担、委託内容の検討を行う。 ・関係機関と連携し、当事業のPRを継続する。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	利用目的範囲及び利用者負担、委託内容の検討を行う。 ・今後も利用者ニーズは高く、高齢者等の外出や社会参加を促進するため、当事業を継続する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	20,068	18,388	23,400	23,074
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,515	1,538	1,880	1,570
	受益者	延べ利用者数	(B)	13,245	11,956	12,450	14,700

5 予算編成(Action2)

事業内容	・福祉有償運送による通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎委託 ・高齢者バス優待乗車証(悠々手形)の購入費に対する助成	要求のポイント	・高齢者の外出支援に要する経費を計上	事業実施の課題	・支所地域と高山地域の利用者負担の公平性の確保
------	--	---------	--------------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		23,400	23,074	△ 326	23,400	23,400	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	3,700	3,700		
	一般財源	23,400	23,074	△ 326	19,700	19,700		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31315 高齢者生きがいづくり推進事業費	会計	1 一般会計	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約
		款	3 民生費	基本分野	4 福祉・保健	実施計画事業	高齢者生きがいづくり推進事業	
担当課	福祉部 高年介護課	項	1 社会福祉費	分野	3 高齢者福祉	H28実施計画額	34,600 千円	
	内線 2932	目	3 老人福祉費	施策概要	6 地域や社会参加の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 65歳以上の市民	どうしたいのか(意図)	・余暇を利用した野菜の栽培や他の農園利用者とのふれあいを通じて、健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにする。・高齢者等の健康増進や心身のリフレッシュを図る。・地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進。・敬老の日にあわせて祝品を配布し、高齢者の長寿を祝う。・高齢者福祉全般に関する事務	概要	事業の実施手法(手段)	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与する。・65歳以上及び身体障害者手帳等を所有する市民に対し、指定温泉保養施設等利用料の半額(年間20枚の助成券を交付)を助成。・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。・安否確認のため、手渡し等による祝品配付を行う。・健康長寿ふれあいまちづくり推進委員会委員報酬、高齢者福祉全般にかかる制度周知等
対象者数	27,382 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園(263区画)を254人に貸与した。(平成27年3月31日現在)毎月、一か月分の利用券を取りまとめ、補助金受領を代行する各温泉保養施設に補助した。市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単体クラブに対する活動助成)米寿の方には民生児童委員のご協力を得て、訪問し安否確認とともに祝品を贈呈							
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
成果面	成果指標	農園利用区画数	区画	目標値	263	263	263	263
				実績(見込)	262	254	263	
	算出根拠等		達成率(%)	100	97	100		
	活動指標	温泉保養施設等利用券交付者数	人	目標値	11,700	12,000	12,300	12,600
				実績(見込)	11,285	11,345	11,123	
	算出根拠等		達成率(%)	96	95	90		
	成果指標	連合長寿会加入率	%	目標値	40	40	40	40
				実績(見込)	37	37	35	
	算出根拠等		達成率(%)	93	93	88		
	成果指標	敬老祝品贈呈者数	人	目標値	657	633	677	747
				実績(見込)	620	616	660	
	算出根拠等		達成率(%)	94	97	97		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・高齢者数の増加に対して長寿会の新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入率の減・単体クラブの減が課題となっている。・健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。・各事業の事務の省力化とコスト抑制について検討する必要がある。・高齢者福祉施策の制度周知を行い、高齢者の見守り等の支援につなげる必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・長寿会加入率・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、今後の支援のあり方について検討する。・温泉保養施設等利用券交付事業は、今年度より補助額への上限の設定や利用券の配布期間を4月から6月までの3か月間にする見直しを行っている。・民生児童委員等の協力を得ながら、高齢者の安否確認も併せて、引き続き祝品を贈呈する。・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。・温泉保養施設利用券の交付方法についてよりコストを引き下げること検討する。・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。
	○維持・改善	・会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、今後の支援のあり方について検討する必要がある。・より優先すべき施策へ財源を振り替えるなど、廃止を含めた見直しの検討が必要である。・引き続き実施方法の改善等を検討する必要がある。・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
	○維持・改善	
	○維持・改善	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	35,026	36,426	34,645	37,015
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,345	1,362	1,265	1,314
	受益者	65歳以上の市民	(B)	26,038	26,737	27,382

5 予算編成(Action2)

事業内容	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与(岡本・下岡本・江名子・三福寺・千島)・市が指定する温泉保養施設の利用料に対する助成・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている高山市連合長寿会の加入組織、加入者に対する活動費の助成及び単体老人クラブの各種活動に対する助成。・敬老祝品の贈呈・高山市老人福祉計画・介護保険事業計画の策定、推進・関係機関との連携調整	要求のポイント	・高齢者の増加に伴う対象者の増	事業実施の課題	・単体老人クラブ数の減
------	--	---------	-----------------	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	34,645	37,015	2,370	34,605	34,605	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	4,644	4,171	△473	4,640	4,640		
その他	360	639	279	640	640		
一般財源	29,641	32,205	2,564	29,325	29,325		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31320 高齢者等住宅改修助成事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・介護保険事業計画	市長公約
		款	3 民生費		基本分野	4 福祉・保健	実施計画事業	高齢者等住宅改修助成事業	
担当課	福祉部 高年介護課	項	1 社会福祉費		分野	3 高齢者福祉	H28実施計画額	32,800 千円	
	内線 2956	目	3 老人福祉費		施策概要	1 住み慣れた地域での生活の支援			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 住宅改修:要介護(支援)認定者 屋根雪除雪:高齢者世帯で親族等から屋根雪の除排雪の支援が得られない者	どうしたいのか (意図)	高齢者が居住する住宅の改修費用及び屋根融雪装置設置費用の一部を補助することにより、日常生活に支障の少ない住宅整備を促し、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように生活維持向上と自立の助長を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者世帯等の住宅改修及び屋根融雪装置に対する補助(相談業務及び完成検査は福祉サービス公社の委託による)
対象者数	27,382 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	住宅改修 67件、住宅改修1割助成 157件、屋根融雪 5件 実施						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	要介護(支援)認定者数	人	目標値	4,922	5,105	5,176	5,325
成果指標	算出根拠等	要介護(支援)認定者数(10/1現在及び計画)	実績(見込)	4,795	4,969	5,054	
	助成件数	件	達成率(%)	97	97	98	
	算出根拠等		目標値	300	300	300	300
			実績(見込)	243	229	236	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	81	76	79	
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 施工技術等の多様化により、市民が新たに補助対象として求めるものも出てきているため、事業の目的に適したものかどうかの検討が必要である。 高齢者の増加に伴い、助成額の増加も見込まれるため、補助金の適正な運営をしていくにあたり、受益者負担等について検討していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 制度の積極的な周知を行う。 新たに補助対象とすべきかの検討については、事業の目的との適合性、その有効性を検証したうえで対応していく。 受益者負担等の検討については、経済情勢や低所得者等への配慮を踏まえつつ慎重に対応していく。 																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担 当 課 評 価</td> <td><input checked="" type="radio"/> 維持・改善</td> <td rowspan="3">高齢化の進展により、本事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二 次 評 価</td> <td><input checked="" type="radio"/> 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	高齢化の進展により、本事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。		拡大		縮小	二 次 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	高齢化の進展により、本事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。																
	拡大																	
	縮小																	
二 次 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	23,380	28,564	32,830	35,626
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	96,214	124,734	139,110	118,753
	受益者 助成対象者数	(B)	243	229	236	300

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険の住宅改修の助成範囲を超える住宅改修費に対する助成 屋根融雪装置の設置に対する助成 	要求のポイント	高齢者の増加による助成件数の増	事業実施の課題	高齢者の増加に伴う助成額の増加が見込まれ、適正に事業を実施するため、受益者負担の在り方について検討していく必要がある。
------	--	---------	-----------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	32,830	35,626	2,796	32,830	32,830	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	32,830	35,626	2,796	32,830	32,830		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31335 老人福祉施設整備費助成事業費	会計	1 一般会計	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約
		款	3 民生費	基本分野	4 福祉・保健	実施計画事業	老人福祉施設整備費助成事業	
担当課	福祉部 高年介護課	項	1 社会福祉費	分野	3 高齢者福祉	H28実施計画額	12,000 千円	
	内線 2932	目	3 老人福祉費	施策概要	1 住み慣れた地域での生活の支援			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 社会福祉法人、介護施設設置事業者	どうしたいのか(意図)	・老人福祉施設の整備に対し助成を行い、高齢者福祉の充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助する。 ・小規模介護施設の開設費用の一部を補助する。 ・小規模介護施設が行う施設整備に対し、整備費用の一部を補助する。
	対象者数 6 団体					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助した。 特別養護老人ホームここらの丘高山及び小規模介護施設の開設費用の一部を助成した。 小規模介護施設が行う施設整備に対し、整備費用の一部を助成した。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	市内の特別養護老人ホームの定員	人	目標値	360	440	440	440
				実績(見込)	360	360	440	
	成果指標	要介護(支援)認定者数	人	目標値	4,922	5,105	5,176	5,325
				実績(見込)	4,795	4,969	5,054	
	算出根拠等	10月1日現在及び計画		達成率(%)	100	82	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・施工スケジュールに基づいた進捗管理の徹底が必要である。
-----------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	事前の協議の段階において、計画どおりに実現できる可否を見極めるために、より詳細な資料を求めるとともに、定期的な進捗管理を行っていく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	第6期介護保険事業計画に基づき、適正な施設整備を行っていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	33,642	197,940	12,255	200,896
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	7,016	39,835	2,425	37,727
	受益者	要介護(支援)認定者	(B)	4,795	4,969	5,054	5,325

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム新宮園の施設整備費の助成(債務負担行為) 小規模福祉施設の整備及び開設に対する助成 	要求のポイント	・サービスの充実を図るため、小規模福祉施設の整備及び開設に対する助成に係る経費を計上	事業実施の課題
------	---	---------	--	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,255	200,896	188,641	11,970	11,970	・積算内容を精査 ・小規模福祉施設の整備及び開設に対する助成については、公募の状況及び国補助決定の状況を踏まえた対応とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		188,926	188,926				
	その他			0				
	一般財源	12,255	11,970	△ 285	11,970	11,970		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	31345	老人福祉施設管理事業費		会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約 市民が主役のまちづくりにおいては、高齢者世代(65歳以上)という呼称を「生涯現役世代」という呼び方に改革し、様々な活躍の場を提供します。
担当課		内線	2932	款	3	民生費	基本分野	4	福祉・保健	実施計画事業	老人福祉施設管理事業	
				項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H28実施計画額	106,800 千円	
				目	3	老人福祉費	施策概要	6	地域や社会参加の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	老人福祉施設利用者	どうしたいのか(意図)	老人福祉施設の適切な運営及び維持管理することで、老人福祉施設利用者等の安全快適な施設利用の促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託。施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新。
	対象者数	33,786 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託。指定管理料：高山市老人デイサービスセンター等 62,978,000円、国府福祉センター 9,550,000円、高山市丹生川・久々野・国府いこいの家 5,327,000円、昭和老人福祉センター(福祉課) 7,509,000円、ふれあい老人いこいの家(子育て支援課) 945,000円 計 86,309,000円 土地借上料：丹生川福祉センター分 605,696円 施設改修等：向陽園昇降機設置ほか							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	施設数(指定管理)	か所	目標値	23	23	22	22
				実績(見込)	23	23	22	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	福祉センター施設延べ利用者数(老人いこいの家含む)	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績(見込)	49,722	49,683	50,000	
	算出根拠等			達成率(%)	99	99	100	
	成果指標	国府福祉センタートレーニング室延べ利用者数	人	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
				実績(見込)	10,330	10,345	10,000	
	算出根拠等			達成率(%)	103	103	100	
	成果指標	デイサービスセンター延べ利用者数	人	目標値				
				実績(見込)	66,269	65,884	66,000	
	算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	モニタリング調査による各施設の管理運営の満足度(平均値)	%	目標値	80	80	80	80	
			実績(見込)	92	98	95		
算出根拠等		調査結果による普通以上の満足度	達成率(%)	115	123	119		
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	指定管理により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後必要である。 施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	指定管理業務のモニタリング調査や事業評価を実施する中で、円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理に努めている。 整備計画に基づき、施設の改修を行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	高齢者の増加に伴い施設利用の増加が見込まれる中、地域の老人福祉の増進の観点から、引き続き実施していく必要がある。 安全対策及び利便性の向上を図るため、整備計画に基づき施設の改修を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	110,991	231,240	103,436	121,337
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,848	3,852	1,724	2,022
	受益者	福祉センター等施設+トレーニング室延べ利用者数	(B)	60,052	60,028	60,000	60,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・老人福祉施設の適切な運営及び維持管理 ・施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新	要求のポイント	・老人福祉施設の運営及び修繕	事業実施の課題	・施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にあるため計画的に改修を行いながら、施設のより一層の利用促進に努める必要がある。
------	---	---------	----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		103,436	121,337	17,901	115,196	115,196	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	823	804	△19	804	804		
	一般財源	102,613	120,533	17,920	114,392	114,392		